

平成 28 年 3 月 17 日

(株)つり人社  
取締役会長 鈴木康友 殿

東京湾再生官民連携  
企画運営委員会  
委員長 來生



プロジェクトチームの新規設立要望について（回答）

平成 28 年 2 月 29 日付けで要望のありましたプロジェクトチーム新規設立申請について、平成 27 年度第 4 回企画運営委員会（平成 28 年 3 月 17 日）における審議の結果、以下の通り承認されましたので通知します。

記

- 一. P T 名：東京湾浅瀬再生実験 P T
- 一. P T 長：鈴木康友
- 一. ミッション等は、下記のとおり

1. 背景

東京湾は、高度経済成長期以降、その流域や臨海部に人口や産業が集中し、我が国を牽引する都市・産業機能が形成されました。その一方で、人口や産業の集中・集積に伴う環境負荷の増大や、沿岸域の埋立による干潟・浅瀬等の消失など、様々な要因により、夏季には慢性的な赤潮が発生するなど湾・海に対しての環境の悪化が顕在化しています。

国・自治体では、さまざまなアプローチ方法により対策を実施してきていますが、環境負荷や水質は一時に比べ改善されつつあるものの、生物生息状況は必ずしも芳しいものとは言えず、改善はごく一部に留まっています。

## 2. 主旨

現況を踏まえ、人、生きもの、都市空間・景観にやさしく、環境負荷が少ない東京湾を目指すことにつながる本 PT を設立し、下記の具体的な活動内容にあるような新たな取り組みを展開したいと考えております。

浅瀬再生にあたり着目した視点は、老朽化等により、これまでの役目を終えた直立護岸等を浅瀬に再生させ、新たな価値を創出するような取り組みを実施することです。

生きものの活動を活発にできる浅瀬、人にとりやさしい浅瀬の実現を目指して、「東京湾浅瀬再生実験 PT」を設立し、官民が連携して、利用されなくなった直立護岸等を実験的に浅瀬へと再生させる試みを行い、市民参加型の浅瀬再生による自然環境の変化を広く情報発信していきたいと思っています。

このような取り組みを促進させることによって、第 2 期行動計画の目標となっている『「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する』へ繋がっていくものと考えています。

## 3. 実行目標

- (1) 護岸、浅瀬の情報収集・研究調査
- (2) 浅瀬再生に関する事例収集を行い、プロジェクト工程の分析を実施し、再生価値、再生技術及び環境メリットなどを把握する。
- (3) 市民参加型や企業の CSR 活動と連携させるなど協力体制を構築する。
- (4) 老朽化した直立護岸等を実験的に浅瀬へと再生する。
- (5) 新たな浅瀬再生モデル事例を試み、環境負荷や生きものに対する変化の評価を行い、それを広く情報発信する。

## 4. ミッション

老朽化し役割転換が必要な直立護岸を浅瀬に再生する取組を実験的にを行い、そのモデル事例を確立し、水質環境、生態系の変化を評価することにより、東京湾全体の環境改善に資する効果も検証し、政策提案をおこないます。

## 5. 具体的な活動内容

- (1) 浅瀬の再生事例の抽出及び情報収集（実地調査含む）
- (2) 実施場所候補の検討（場所の抽出、制約条件整理）
- (3) 並行して環境負荷側面の情報収集などの実施
- (4) 具体的な個別実施場所における全般環境、再生方法、再生技術、具体的な費用のシミュレーションの実施など
- (5) 並行して、現地関係者との調整や市民参加調整など
- (6) 資金調達活動
- (7) 浅瀬再生モデル事例のまとめ、政策提案
- (8) 浅瀬再生の実験（経過報告などの情報発信含む）

6. スケジュール (案)

一年目：(1)、(2)

二年目：(3)、(4)、(5)

三年目：(6)、(7) (政策提案)

四年目：(8)

7. 参加人数

20名程度

メンバー構成は東京湾沿岸自治体の港湾部局、建設業者 (マリンコンストラクター、コンサルタント等)、土地所有者、国土交通省 等

8. フォーラムの運営への協力・寄与

PT は、企画運営委員会の承認のもとで活動をし、企画運営委員会に対して随時活動報告を行うこととなります。同時に、PT 長は企画運営委員会に加わり、フォーラムの運営に寄与することとなります。企画運営委員会への参加にあたっては、フォーラムの趣旨・目的が円滑に遂行できるように協力し、寄与する責務が生じることを十分に理解してください。

また、PT 活動が、もしフォーラムの趣旨・目的や指示ミッションに违背する方向に向かうときには、フォーラムの一員としての活動を停止し、説明責任を果たすとともに、フォーラム内の PT としての活動ではなく、それぞれのグループ・団体の独自活動として独立して実施していただくこととなります。

以上